

# 農地・水・環境保全だより 第18号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

## 会長挨拶

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会  
会長 橋爪 彰男



「三重県農地・水・環境保全向上対策協議会」の会長の三重県農林水産部長 橋爪彰男でございます。当協議会の発展に向け、引き続き取り組んで参りますので、よろしくお願いたします。

平成19年度から実施されてきました「農地・水・環境保全向上対策」は、平成24年度から「農地・水保全管理支払」としてリニューアルされ、平成25年度末時点で県内510集落、17,007ヘクタールの農地において、地域の特色を生かしたさまざまな取組が行われています。改めて、これまでの皆様のご努力に敬意を表するところです。

さて、国においては、昨年12月に「農林水産業・地域の活力創造プラン」を策定（本年6月に改訂）し、農業を足腰の強い産業としていくための「産業政策」と、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための「地域政策」を両輪として推進する農政改革がスタートしました。

このうち、「地域政策」におきましては、これまでの「農地・水保全管理支払」が見直され、「日本型直接支払制度」の一つである「多面的機能支払」として創設されました。新しい制度では、水路の泥上げや法面の草刈りなどの基礎的保全活動が、農業者のみの取組でも支援の対象となるなど、拡充が行われております。

現在、「多面的機能支払」に取り組んでいただく地域の拡大に向け、国や市町とともに制度説明会を県内各地で開催しているところであり、説明会にご参加された皆様からは、地元の農地やコミュニティを守り次の世代に引き継いでいきたいという強い想いを伺っております。

県としましても、「多面的機能支払」の推進とあわせて、地域を守る皆様の活動が持続的に発展していけるように、地域資源を活用したビジネスの実現や6次産業化の取組など、多方面から支援をさせていただきたいと考えております。

さらに、輸出の促進や担い手への農地の集積など農業を産業として成長させていく取組にも力を入れていくことにより、「もうかる農業」と「美しく活力ある農村」の実現につなげて参りたいと考えています。

今後とも、「多面的機能支払」による活動がより一層発展していくように、精一杯取り組んで参りますので、地域におきまして引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

## 県内の活動紹介

### デンジ草観察会及び田植え体験を実施 【桃園西部デンジ草保存会】(津市)

津市牧町で活動する「桃園西部デンジ草保存会」が、6月1日、地元自治会や子供会ら60名参加のもと、地域で生育する希少種「デンジ草」の観察会及び餅米の田植え体験を開催し、次世代を担う子どもたちにデンジ草の保存と農業の大切さを伝える活動を行いました。



デンジ草を観察する参加者

デンジ草(田字草)は、葉の形が「田」の字に似ていることから名付けられ、かつては各地域の水田でよく見られましたが、環境の変化により希少植物となっています。



餅米の田植え体験

### 田んぼアートを実施 【榊原みずすまし会】(津市)

津市榊原町で活動する「榊原みずすまし会」が、6月8日、市内外の親子ら190人が参加し、かかしと「サカキバラ2014」の文字の絵柄を5種類の苗(色分け)で植えました。絵柄は地元の榊原小学校の児童から公募し、田んぼへの絵柄の位置決めは県立久居農林高等学校の生徒に測量を行ってもらい、駐車場の案内や交通整理は地域の消防団員にお願いするなど、地域ぐるみの活動となりました。

今年で4回目を迎え、毎年趣向を凝らした「アート」が榊原の田んぼに出現し、訪れる皆さんを楽しませてくれます。

7月初旬から絵柄が鮮明になり、約一ヶ月楽しめます。是非ご覧下さい。



田植えに奮闘する参加者



「サカキバラ2014」の文字が浮き始めているほ場



田植えに奮闘する参加者

**〔多気町勢和地域資源保全・活用協議会〕**（多気町）が協賛  
～ふるさとの水と土に感謝して～

## 第18回 大師の里・彦左衛門のあじさいまつり 開催されました

あじさいが咲き誇る多気郡多気町丹生の大師の里周辺で6月8日（日）午前9時から「第18回大師の里・彦左衛門のあじさいまつり」が開催されました。

「ふるさとの水と土に感謝して」をテーマに平成9年からスタートしたこのイベントも第18回を数え、当日は天候にも恵まれ、水銀と弘法大師「空海」ゆかりの地「丹生大師の里」で周辺を流れる立梅用水（水）・周辺の田んぼ（土）・1万本以上のあじさいが咲き乱れる緑豊かな資源空間（里）をまつりの舞台とした「水土里（みどり）の祭典」に町内外から約10,000人が集まり大勢の人でにぎわった。

オープニングセレモニーに続いて、あじさい姫の紹介、よさこい演舞、恒例の田んぼの綱引きなどが広い会場のあちらこちらで行われ、とりわけ途中手堀りのノミ跡が残るトンネルを抜ける立梅用水路の「ポート下り」は待ち時間が出るほどの大盛況であった。



スタンプを押すスタンプラリー参加者

水土里ネットみえも会場入口付近にブースを設け、本会の愛称を啓発する「あじさいの小径スタンプラリー」を行った。1000人ほどのお年寄りから子どもがスタンプラリーに参加し、最後にスタンプラリーを完成させた参加者には花の苗ポットをプレゼントし、参加者は大喜びで花の苗ポットを選んでいった。



綱引きで奮闘する参加者

また、毎年白熱した戦いが繰り広げられる「田んぼの綱引き大会」では、町内外の老若男女ばかりでなく、海外からのチームも参加し、全身泥だらけになりながら熱戦を繰り広げ、優秀な成績を収めたチームには栄誉を称えた。



花ポットを選ぶ参加者

各チームは強い意気込みのもと全力掛声のもと綱を引き合い、会場からも掛声や歓声が響き渡っていた。

他にも、田んぼのコンサート、もちまきなどいろいろな催し物や多くの団体が出店した特徴ある店々が軒を連ね、大にぎわいの1日であった。

## 事務局だより

### 日本型直接支払制度（多面的機能支払）説明会を開催しています。

平成26年度より始まる日本型直接支払制度（多面的機能支払）の新規組織、継続組織向け説明会を4月23日の津リージョンプラザを皮切りに7月8日現在まで35箇所の会場で開催し、延べ約1,500名の参加者がありました。

各会場とも熱心に質問、意見等があり、この制度に対する農家の方々の関心の大きさが伝わってきました。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

## イベント情報 提供用紙

|                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 活動組織名<br>(市町名も記入して下さい)  | ( 市・町 )               |
| イベント名                   |                       |
| 開催日時                    | 平成 年 月 日 ( 曜日 ) : ~ : |
| 開催場所                    |                       |
| イベント内容<br>(できるだけ詳細に)    |                       |
| 内容の問い合わせ先<br>(お名前・電話番号) |                       |

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会では、活動組織さんが開催されるイベントをホームページ等で紹介しますので、今後イベントを計画されている活動組織さんはFAX又はメール等で下記までどんどんお知らせ下さい。  
なお、案内チラシ等がある場合には、一緒に送って下さい。

## 記

〒514-0006 津市広明町330番地(水土里ネットみえ内)  
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会事務局 宛

**FAX 059-225-7332**

TEL 059-226-4824

**E-mailアドレス webmaster@miedoren.or.jp**

**多面的機能支払**に対応した「**三重県農地・水・環境保全向上対策協議会**」のホームページに更新しました。

「**三重県農地水**」で検索し、「**三重県農地・水・環境保全向上対策協議会 - 水土里ネットみえ**」をクリックして下さい。

三重県農地・水・環境保全向上対策協議会